

## 着任にあたって

本願寺長野別院輪番  
長野教区教務所長

酒井 隆哲



春光うらかな季節となりました。

この度四月一日付の宗派人事により浄土真宗本願寺派長野教区教務所長・本願寺長野別院輪番を拝命いたしました酒井隆哲(さかいりゅうてつ)と申します。

これまでは日野誕生院主管・誕生院保育園園長を務めておりました。親鸞聖人ご誕生の地である日野の里(京都市伏見区)にあります日野誕生院は、親鸞聖人のご誕生を顕彰して一八二八年にお堂が建てられたことが始まりと言われております。ご本山の親鸞聖人御誕生八五〇年・

立教開宗八〇〇年慶讃法要に合わせて整備・修復が行われ、現在の別堂(ご本山の阿弥陀堂が本堂、それに対して日野誕生院は別堂と通称されています)が建てられた一九三一(昭和六)年当時を思い起こさせる佇まいがよみがえり、昨年のご本山での法要期間中には全国よりたくさんの方々にご参拝をいただきました。そしてご本山でのご満座法要前日の五月二〇日には、日野誕生院においてご門主様ご親修の慶讃法要がお勤まりになりました。その一方で保育園においては、観光で潤う京都市ではありますが、最近の子育て世代を中心に近隣の宇治市や滋賀県大津市への人口流出が進んでおり、特に日野誕生院周辺は京都市の中でも少子化が著しい地域の一つで、園児が集まらずに心を悩ます日々を送っております。

日野誕生院主管より以前は、二〇二〇年に宗務所へ異動となるまで築地本願寺で二十数年間奉職させていただき、そのうちの十年近くは東京教区教務所に

も勤務しておりました。その築地本願寺時代には当時部長・主任であった石川前輪番のもとで共に務めさせていただいたこともあり、本願寺式務部ご出身ということで勤式作法については特に厳しく指導していただきましたことを思い出します。歴代輪番の廣澤さん・菅原さん・本川さん・内藤さんにも東京ではお世話になりました。長野別院や長野教区によせていただいたことも何度かあり、今回久しぶりの長野別院ということで懐かしく思うとともに、幼稚園の建物が駐車場になり、本堂や庫裏が補修・改修中ということもあって、時間の流れを感じつつ、当時お世話になった方や一緒に勤務していた懐かしい仲間が長野教区にはおられますので、心強くも感じております。

本年一〇月には長野教区親鸞聖人ご誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要並びに長野別院創立一〇〇周年記念法要が予定されているこの時期に、長野教区に赴任させていただいたご

縁を喜ばせていただくとともにその重責に身の引き締まる思いでございます。特に本年は親鸞聖人が一二二四(元仁二)年五二歳の時「顕浄土真実教行証文類」を執筆された、まさに立教開宗八〇〇年の年でもあります。このご勝縁を大切に親鸞聖人が九〇年のご生涯をもってお示しくださったお念仏のみ教えを拠り所として、長野別院門信徒の皆さま方をはじめ、長野教区有縁の方々と共に歩んでまいりたいと思うこととございます。

何分浅学非才の身でありますので、皆さまのご指導を賜りながら、石川前輪番のご意思を引き継ぎつつ、微力ながらこの長野の地において御法義宣布に務めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



# 本願寺長野別院からのお知らせ 2024 「春号」

(長野別院・定専寺・善立寺)

## 退任にあたって

本願寺長野別院前輪番

石川 勝紀

暖かい春の日差しの中、木々の新芽の緑が鮮やかな季節となりました。

さてこの度、四月一日付の宗派人事にて、本願寺帯広別院に異動することとなりました。

二〇二三（令和五）年一月七日に本願寺仙台別院から長野別院輪番に着任いたしましたので、在任期間は一年三ヶ月と短い期間でありました。この間、長野別院門信徒の皆様方にはひとかたならないご厚情に預かりましたこと、篤く御礼申し上げます。

ことに、本年十月に迎える「長野教区親鸞聖人ご誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要、並びに本願寺長野別院創立百周年記念法要」について、この事業計画にご理解ご協力賜り、ご懇念をお納めいただきましたことと甚謝いたします。斎藤前輪番からの引き継ぎにおいては記念

事業の完遂・法要の円成を託されましたが、この法要を迎える前に退任となりましたこと、残念至極であります。

さて、昨年の五月には新型コロナウイルスの扱いが五類に引き下げられ、社会的にはこれまで自粛されていたことが緩和されていきました。しかし、コロナ禍前と同じ社会に戻ることはなく、便利になったこともあり

ますが、コロナ禍における人と人の関わりを避けた生活の影響で、人間関係が希薄になってしまったと思うこともあります。この影響により、寺院を取り巻く環境も厳しくなり、法事や葬儀の簡素化や、その間控えていた門信徒の集まりなどにおいて、お寺とのご縁を大切にしていただいていた門信徒の皆様との距離も少し空いてしまったような気がします。実際この一年三ヶ月の期間において、春秋のお彼岸法要・降誕会・報恩講・元旦会などにお見えになった方は、悲しいことですが決して多いとはいえないことでありました。本年十月に迎える「親鸞聖人ご誕生

八百五十年立教開宗八百年・長野別院創立百周年慶讃法要」におきましては、一人でも多くの方にこの御勝縁に遇って頂きたく存じます。

宗派では御同朋の社会をめざす運動（実践運動）を推進し、お念仏のみ教えを抛り処として、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現にむけて、「結ぶ絆から、広がるご縁へ」というスローガンのもとその歩みを進めております。長野教区におきましては、この運動推進にあたり、独自のスローガンとして「濁世に生きる」と掲げております。「濁世」とはそのまま「濁りの世の中」。現代社会は文明や科学技術は進化したものの、戦争や疫病の蔓延、凶悪な犯罪や、政治不信、そして天変地異など、現代社会はまさに「濁世」そのものであります。

親鸞聖人がご誕生された一一七三年から、お亡くなりになられた一二六三年まで九〇年の間に元号が三十六回も変わりました。当時は疫病や飢饉、戦乱の時代であり、その疫を払うため

頻繁に元号が変わる時代でありました。

親鸞聖人のご和讃に「五濁悪世のわれらこそ 金剛の信心ばかりにて ながく生死をすてはてて 自然の浄土にいたるなれ（意識…さまざま濁りに満ちた悪世に生きるわたくしたちこそ、阿弥陀様にいただいた決して壊れることのない他力の信心ただ一つで、永久に迷いの世界を捨てて、阿弥陀仏の浄土に往生する）」とありますこの「濁った時代」であるからこそ、お念仏のみ教えを抛り処として、心豊かに生きることのできる社会の実現を望みたいと思います。そして、長野別院門信徒の皆様方には健やかに過ごされますよう念じ申しあげます。



# 本願寺長野別院からのお知らせ 2024 「春号」

(長野別院・定専寺・善立寺)

## 本願寺長野別院創立100周年記念法要

期日／令和6年10月26日(土)・27日(日)

記念事業推進状況についてご報告 No.3

本願寺長野別院創立100周年にあたり、門信徒の皆さまに3カ年事業推進計画のもと、推進懇志のご協力依頼をさせていただきました。非常に厳しい情勢のなか、昨年度は多くの皆さまにご進納いただきましたこと、厚く御礼申しあげます。現在の収納状況並びに工事進捗状況についてご報告いたします。

### ①推進懇志(一般・特別) 収納報告

※令和6年3月末日現在

一般懇志1113万8千円(818件)

進納率87%※3カ年全納含む

特別懇志1044万5千円(55件)

長野別院門信徒22件・

長野教区寺院等30件

ご進納いただき、

誠にありがとうございます。

※令和6年度一般推進懇志の依頼につきましては、7月上旬頃護持費に併せて、ご依頼いたします。

ご進納よろしくお願いたします。

### ②記念事業推進状況について

これまで、本堂・講堂照明のLED化工事・本堂障子の張り替えについて進めることができました。

現在は、庫裏2階回廊の補修・塗装工事、納骨堂入口屋根修復作業を進めています。今後は、懸案事項であった、①庫裏1階・2階トイレ改修・②本堂外陣フローリング化・③本堂扉改修などを行い、明るく綺麗になった長野別院にて、皆様と一緒に記念法要をお迎えする時を心待ちにしています。(笠原)



### (一) 回廊補修工事

雨風の影響により一部腐食して穴が開き、損壊の危険性があるため、補修・錆止め後、回廊全体を塗装。



### (二) 納骨堂屋根修復工事

雪等の影響により、劣化が著しい屋根を張替。新たに雪止めを設置。



### (三) 庫裏講堂照明工事

講堂照明のLED化工事を終え、室内が大変明るくなりました。皆さまには、仏事や様々な行事にご利用ください。



### ●慶讃法要・記念法要について

期日10月26日(土)〜27日(日)

ご門主 ご親修・ご親教

26日…午後〜①稚児行列

②記念法要 ③記念布教

27日…午前〜①記念布教

②記念法要

午後〜③帰敬式

④ワークショップ「消しゴムはんこ」

⑤記念講演・レセプション

※令和6年報恩講法要は、10月

28日(月)午前中の予定です。

詳細は、後日ご案内いたします。

＜お願い＞ 子どもたちの居場所づくりなどの活動のための寄付を受け付けています。よろしくお願ひします。

御命日法要・常例法座

毎 16日は親鸞聖人の御命日

ぜひお参りください。

5月16日(木)・17日(金)

講師 横内 教順師

(東京都文京区 称名寺)

6月16日(日)・17日(月)

講師 天野 真隆師

(兵庫県揖保郡 善導寺)

7月16日(火)・17日(水)

講師 遠山 信敬師

(福井県三方上中郡 圓成寺)

8月・・休 座

※いずれも午後1時30分から

会場／本堂・講堂

親鸞聖人降誕会法要

5月18日(土) 10時

講師 横内 教順師

(東京都文京区 称名寺)

親鸞聖人のお誕生をお祝いする降誕会法要。本年は法要後にギター演奏(①ふれあいギターサークル②ルス・アルテ)並びに、新輪番さんを囲んで交流昼食会を開催致します。どうぞ皆さまのご参加お待ちしております。

お晨朝(朝のおつとめ)

毎朝7時30分から8時頃まで

※お経本はご用意しています。

聖徳仏婦例会

6月19日(水) 10時

レクリエーション

シヤドーボックス講習会・食事会

7月21日(日) 10時

仏具おみがき

8月21日(水) 午後1時30分

太子会

例会・2月・12月 17日

午後1時30分

別院仏壮例会

※通年研修テーマ

「大きな字の歎異抄」

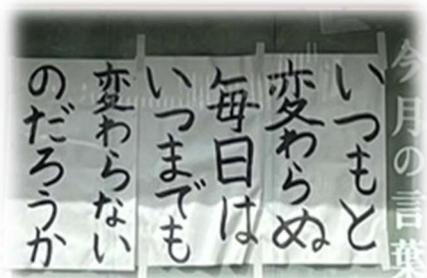
講師：嶋倉 崇雄さん(圓長寺住職)

例会各月 第一水曜日

午後6時～8時(1、8月を除く)

仏婦・仏壮会員を随時募集しております。詳細は長野別院(定専寺・善立寺)までお問い合わせください。

今月のことば



毎月長野別院の掲示板に、標語を掲示しています。四月のことばは、「いつもと変わらぬ毎日はいままで変わらないのだろうか」と変わらぬ毎日、

ぬ毎日、いつまでも変わらぬのだろうか」という言葉です。当たり前過ぎてこの毎日、忘れてしまっている私ですが、この日々がいつまでも変わらぬあるのだろうか。と思ったとき、いつなが起きるか分からない、この人生において、いつもと変わらぬ毎日、実はその一日一日が二度と繰り返すことのできない、とても大切にかけがえないものであったと考えさせられました。いつまでも変わらぬものはないからこそ、共にできる限り、今を大切に生きていきたいですね。(河野)

新任職員紹介

この度四月一日付宗派人事にて、本願寺長野別院一般職員、長野教区教務所事務職員に任じられました、河東組 圓長寺 嶋倉崇信(しまくらたかのぶ)と申します。

これまでは、京都の浄土真宗本願寺派宗務所 所務部(財務担当)にて勤めさせていただいております。

長野別院創立百周年をお迎えするこの時期に、有難いご縁をいただき、地元長野に帰って来ることが出来ましたこと、大変嬉しく思います。

長野別院の皆様には仏教青年会や、災害ボランティア、キッズサンガなど大変お世話になっております。今後は別院の一員として、法務や教化活動に尽力させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

